

まちのうごき		
面積	7.67㎢	
(2月1日現在)	(1月中)	
世帯数	18,366世帯	生まれた人 49人
人口	53,274人	亡くなった人 34人
男	26,159人	転入した人 211人
女	27,115人	転出した人 193人

向日市

No.593

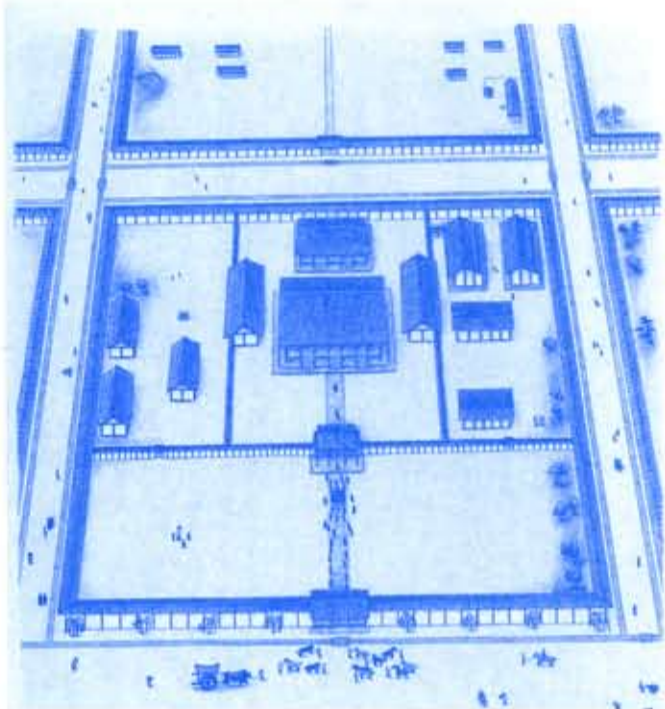
平成7年(1995年)3月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

向日市マイロード事業



東院の道よみがえる



東院の復原図



順調に整備が進む「東院の道」(左はシンボルである鬼瓦のモニュメント)

東院の道

長岡京跡

東院とは、天皇の住まいする内裏の東に設けられた離宮を指す名称です。長岡京では延暦12年(793)1月に記録に登場し、桓武天皇が、新京・平安京の建設が進む間、

「東院の道」は、その離宮の西側を南北に走る道路の俗称で、古代には東二坊坊間小路と呼ばれていました。平安京では堀川小路に相当する道で、幅9メートルありました。付近には、猪隈院(いのかまいん)等の離宮のほか、様々な役所群が配置されており、皇族や貴族の乗る輿(こし)が行き交い、役人達がせわしなく歩くにぎやかな道でした。かつては、柳や槐(えんじゅ)の木が植えられ、その木陰では、万葉人のロマンが芽生えたことでしょう。

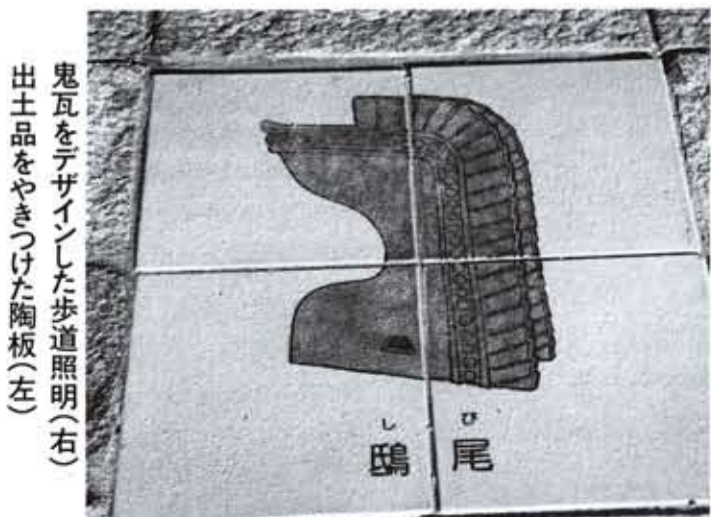
マイロード事業とは、地域の個性と創意工夫を活かした地域振興の一つとして進められる、個性豊かな道路整備事業。住民のみなさんのアイデアを活かして、歴史・文化・自然などその地域の特色を生かした魅力ある道づくりに取り組むもので、向日市では、平成5年に「東院の道」が、建設省マイロード事業に選定され、地元自治会などと協議を行い、地域に密着した親しまれる道として整備を進めています。

「古き都・長岡京をしのばせる鬼瓦」「うるおいとやすらぎを感じさせるせせらぎの水辺」
鶏冠井町上古の市民温水プール西側の「東院の道」の整備が進んでいます。

この「東院の道」は、平成5年度に、建設省のマイロード事業として選定されたもので、市街地と市民温水プール・ふれあい広場・市民体育館など運動公園エリアとを結び、延長210メートル、幅員16×18メートルの市道森本上植野幹線として取り組んでいるものです。

隣接する市民温水プール敷地内で発掘された長岡京の東院のイメージを生かし、長岡京の出土品をデザインした陶板を配した歩道、鬼瓦をモチーフとしたモニュメント、自然石を用いたせせらぎを再現するなど、往時をほうふつさせる道路空間を演出しています。

1200年前の歴史と文化に思いを馳せ、ぜひ一度ご散策ください。



鬼瓦をデザインした歩道照明(右) 出土品をよきつけた陶板(左)